

令和6年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	1 年	教科名	社会科
教科担当	下地昌之 佐久本海輝		
教科書名	中学生の地理（帝国書院）・中学生の歴史（帝国書院）		
副教材	地理の学習1・歴史の学習1		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (社会) 科の目標と評価について

教 科 の 目 標	<p>[地理的分野]</p> <p>(1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。</p> <p>(2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。</p> <p>(3) 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。</p> <p>(4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。</p> <p>[歴史的分野]</p> <p>(1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。</p> <p>(2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。</p> <p>(3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもち、国際協調の精神を養う。</p> <p>(4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。</p>
-----------------------	--

<p>評価の 観点</p>	<p>1 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。 2 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 3 社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。</p>
<p>評価 方法</p>	<p>1 授業中の態度や参加の様子(挙手・発言・話し合い・聞く態度) 2 ノート・ワーク・レポート・社会科新聞などの提出物の内容 3 定期テスト 4 小テスト、作文、スピーチなど</p>

2 (社会) 科の学習について

<p>進 授 め 業 方 の</p>	<p>(1)授業は、プリントやノート、ロイロノートで様々な課題を提示します。期限を守って提出できるようにしましょう。 (2)単なる暗記ではなく、地図や統計資料、写真等から何が読み取れるかを考えよう。 (3)ICT機器を活用し、視覚的にわかるように授業を展開します。 (4)テレビや新聞、SNS等の社会で起きた問題(ニュース)を通して、時事問題への関心を高め社会的事象に対する見方や捉え方を育てます。 (5)探求型の学習をできるだけ取り入れ、お互いの意見や考えを交流させ、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。</p>
<p>テ ス ト 定 期</p>	<p>○教科書ならびに副教材を使用して学習した授業の内容および時事問題などを中心に出題します。 ○テストに際しては、教科書の説明で使ったプリントやデジタルコンテンツからも出題します。 ○統計資料や史料などを用いた「思考力・判断力・表現力」を問う問題を出題します。 ○「知識・技能」、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点に分けて出題します。 ○テスト範囲は、テストの約1週間前に連絡します。</p>

3 年間指導計画（その①）

<p>4月</p>	<p>【地理的分野】 第1部世界と日本の地域構成 第1章世界の姿</p> <p>◎知識・技能 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。</p> <p>緯度や経度のしくみや使い方、地図帳を使って日本や世界の位置を調べることができる</p> <p>◎思考・判断・表現 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。</p>
<p>5月</p>	<p>第2章日本の姿</p> <p>◎知識・技能 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。</p> <p>◎思考・判断・表現 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境</p> <p>◎知識・技能 世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。</p> <p>◎思考・判断・表現 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
<p>6月</p>	<p>第1節 アジア州 第2節 ヨーロッパ州</p> <p>◎知識・技能 アジア州やヨーロッパ州に暮らす人々の生活をもとに、地域的特色を大観し、EU統合や文化の多様性に関わる課題が地域的特色の影響を受けて独自の様相を見せていることを理解する</p>
<p>7月</p>	<p>①単元名（教材名） ②主な評価の観点 ◎主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿（B規準）</p>
<p>8月</p>	<p>第3節 アフリカ州 第4節 北アメリカ州</p>

◎思考・判断・表現

一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源にたよるようになった原因を追及し、そのような貿易形態の問題点を多面的多角的に考察し、解決に向けて選択・判断している。

9月 第5節 南アメリカ州

◎知識・技能

多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた歩みと、経済成長をとげた国とそうでない国とが共存する地域の姿を理解するとともに、ブラジルでは経済発展が進む一方で、経済格差などの問題が生じていることを、本文や資料から調べまとめている。近年の顕著なブラジルの経済成長の要因と、経済成長とともに環境問題が起きていることやその解決を多面的・多角的に考察している。

◎主体的に学習に取り組む態度

多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究し、解決しようとしている。

10月 第6節 オセアニア州

◎思考・判断・表現

オセアニア州の国々が、旧宗主国であるヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。

11月 第1節 歴史の流れと時代区分

◎知識・技能

①年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。

第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた

◎知識・技能

自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的なことからとの関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。

第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり

12月 第1章 古代 古代国家の成立と東アジア

◎主体的に学習に取り組む態度

古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。

第2節 東アジアの中の倭（日本）

◎知識・技能

日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとのかかわりなどをもとに、東アジアの文明の影響を受けながらわが国で国家が形成されていったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。

1月	<p>第3節 中国にならった国づくり 第4節 展開する天皇・貴族の政治</p> <p>◎知識・技能</p> <p>摂関政治をもとに、天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p>
2月	<p>第2章 中世 武家政権の成長と東アジア</p> <p>第1節 武士の世の始まり 第2節 武家政権の内と外</p> <p>◎知識・技能</p> <p>鎌倉幕府の成立などをもとに、武士が台頭して、主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p>
3月	<p>第3章 近世 武家政権の展開と世界の動き</p> <p>第1節 大航海によって結び付く世界 第2節 戦乱から全国統一へ</p> <p>◎知識・技能</p> <p>織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p>

令和6年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	社会科
教科担当	野原大輝		
教科書名	中学生の地理（帝国書院）・中学生の歴史（帝国書院）		
副教材	地理の学習2・歴史の学習2		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 社会科の目標と評価について

教 科 目 標	<p>[地理的分野]</p> <p>(1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。</p> <p>(2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。</p> <p>(3) 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。</p> <p>(4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。</p>
	<p>[歴史的分野]</p> <p>(1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。</p> <p>(2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。</p> <p>(3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもち、国際協調の精神を養う。</p> <p>(4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々</p>

	<p>な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。</p>
<p>観 点 の 評 価</p>	<p>1 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。 2 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 3 社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。</p>
<p>方 法 の 評 価</p>	<p>1 授業中の態度や参加の様子（挙手・発言・話し合い・聞く態度） 2 ノート・ワーク・レポート・社会科新聞などの提出物の内容 3 定期テスト 4 小テスト、作文、スピーチなど</p>

2 社会科の学習について

<p>進 授 め 業 方 の</p>	<p>(1)授業は、プリントやノート、ロイロノートで様々な課題を提示します。期限を守って提出できるようにしましょう。 (2)単なる暗記ではなく、地図や統計資料、写真等から何が読み取れるかを考えよう。 (3)ICT機器を活用し、視覚的にわかるように授業を展開します。 (4)テレビや新聞、SNS等の社会で起きた問題(ニュース)を通して、時事問題への関心を高め社会的事象に対する見方や捉え方を育てます。 (5)探求型の学習をできるだけ取り入れ、お互いの意見や考えを交流させ、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。</p>
<p>テ ス ト 定 期</p>	<p>○教科書ならびに副教材を使用して学習した授業の内容および時事問題などを中心に出題します。 ○テストに際しては、教科書の説明で使ったプリントやデジタルコンテンツからも出題します。 ○統計資料や史料などを用いた「思考力・判断力・表現力」を問う問題を出題します。 ○「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点に分けて出題します。 ○テスト範囲は、テストの約1週間前に連絡します。</p>

3 年間指導計画

4月	<p>【地理的分野】 第3部 日本のさまざまな地域 第1章 身近な地域の調査</p> <p>◎知識・技能 ・観察や野外調査, 文献調査を行う際の視点や方法, 地理的なまとめ方の基礎を理解している。</p> <p>・地形図や主題図の読図, 目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。</p> <p>◎思考・判断・表現 地域調査において, 対象となる場所の特徴などに着目して, 適切な主題や調査, まとめとなるように, 調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し, 表現している。</p>
5月	<p>第2章 日本の地域的特色</p> <p>◎知識・技能 ・日本の地形や気候の特色, 海洋に囲まれた日本の国土の特色, 自然災害と防災への取組などを基に, 日本の自然環境に関する特色を理解している。</p> <p>・少子高齢化の課題, 国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に, 日本の人口に関する特色を理解している。</p> <p>◎思考・判断・表現 ・「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について, それぞれの地域区分を, 地域の共通点や差異, 分布などに着目して, 多面的・多角的に考察し, 表現している。</p>
6月	<p>・日本の地域的特色を, 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して, それらを関連付けて多面的・多角的に考察し, 表現している。</p>
7月	<p>第3章 日本の諸地域</p>
8月	<p>◎知識・技能 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について, その地域的特色や地域の課題を理解している。</p>
9月	<p>◎思考・判断・表現 ・日本の諸地域において, 地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目して, 他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し, 表現すること。</p>
10月	<p>第4部 地域の在り方</p> <p>◎知識・技能 ・地域の実態や課題解決のための取組を理解している。 ・地域的な課題の解決に向けて考察, 構想したことを適切に説明, 議論しまとめる手法について理解している。</p> <p>◎思考・判断・表現 地域の在り方を, 地域の結び付きや地域の変容, 持続可能性などに着目し, そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。</p>

11月	<p>【歴史的分野】 第3節 武士による全国支配の完成</p> <p>◎知識・技能 ・江戸幕府の成立と大名統制、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係をもとに、幕府と藩による支配が確立したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>◎思考・判断・表現 ・統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、安定した社会が構築されたことを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>第1節 欧米諸国における「近代化」</p> <p>◎知識・技能 欧米諸国における市民革命や産業革命をもとに、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへの進出したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>◎思考・判断・表現 工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、近代化の進展により欧米諸国の政治や社会がどのように変化したかを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
12月	<p>第2節 開国と幕府の終わり</p> <p>◎知識・技能 欧米諸国のアジア進出による中国の動き、日本の開国と貿易の開始による政治的、経済的、社会的な影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>◎思考・判断・表現 工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
1月	<p>第3節 明治政府による「近代化」の始まり</p> <p>◎知識・技能 富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などをもとに、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>◎思考・判断・表現 明治政府の諸改革の目的に着目して、諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察したり、明治維新について、近世の政治や社会との違いに着目して、近世から近代への転換のようすを考察したりするなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
2月	

3月

第4節 近代国家への歩み

◎知識・技能

自由民権運動、大日本帝国憲法の制定をもとに、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。

◎思考・判断・表現

議会政治や政治の展開に着目して、世界との関係や、現代の政治とのつながりを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。

第5節 帝国主義と日本

◎知識・技能

条約改正、日清・日露戦争などをもとに、日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。

◎思考・判断・表現

交や戦争の展開に着目して、世界との関係や現代の政治とのつながりを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。

第6節 アジアの強国の光と影

◎知識・技能

日本の産業革命とこの時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに、日本で近代産業が発達し、近代文化が形成されたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。

◎思考・判断・表現

近代化がもたらした文化への影響に着目して、産業の発展が国民生活や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。

令和6年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	社会科（歴史的分野・公民的分野）
教科担当	田仲里子 下地昌之 田港貴子		
教科書名	中学生の歴史（帝国書院） 新しい社会公民（東京書籍）		
副教材	歴史の学習2・3 公民の学習		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (社会) 科の目標と評価について

教科 目標の	<p>[歴史的分野]</p> <p>(1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。</p> <p>(2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。</p> <p>(3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。</p> <p>(4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。</p> <p>[公民的分野]</p> <p>(1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。</p> <p>(2) 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。</p> <p>(3) 国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。</p> <p>(4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。</p>
観 点 の 評 価	<p>1 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>2 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</p> <p>3 社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。</p>
方 評 法 価	<p>1 授業中の態度や参加の様子(話し合い・聞く態度・授業の課題)</p> <p>2 ノート・ワーク・レポート・社会科新聞などの提出物の内容</p> <p>3 定期テスト・単元テスト</p>



2 (社会) 科の学習について

進授 め業 方の	<p>(1)授業は、プリントやノートで様々な課題を提示します。</p> <p>(2)単なる暗記ではなく、地図や統計資料、写真等から何が読み取れるかを考えます。</p> <p>(3)ICT機器を活用し、視覚的にわかるように授業を展開します。</p> <p>(4)テレビや新聞、SNS等の社会で起きた問題(ニュース)を通して、時事問題への関心を高め社会的事象に対する見方や捉え方を育てます。</p> <p>(5)探求型の学習をできるだけ取り入れ、お互いの意見や考えを交流させ、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。</p>
テ ス ト 期	<p>○教科書ならびに副教材、科書の説明で使用したプリントや資料集、デジタルコンテンツなどを使用し、学習した授業の内容および時事問題を中心に出题します。</p> <p>○テストは「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点に分けて出题します。</p> <p>○「思考力・判断力・表現力」は統計資料や史料などを用いて、正しく選択する、説明するなどを問う問題を出題します。</p> <p>○これまでの学びを人生や社会に生かそうとする「主体的に学習に取り組む態度」を養う問題を出題します。</p> <p>○テスト範囲は、テストの約1週間前に連絡します。</p>

3 年間指導計画 (その①)

4月	<p>オリエンテーション 3年生での学習内容、評価の説明</p> <p>〔歴史的分野〕</p>
4月	<p>①単元名(教材名) 第1節 第一次世界大戦と民族独立の動き</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎世界の動きと日本の関係に着目して、第一次世界大戦による世界の変化や影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>①単元名(教材名) 第2節 高まるデモクラシーの意識</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化をもとに、第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>①単元名(教材名) 第3節 戦争に向かう世論</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎経済的世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦が始まるまでの日本の政治・外交の動きなどをもとに、軍部の台頭から戦争までの経過を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p>
5月	<p>①単元名(教材名) 第4節 第二次世界大戦の惨禍</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎世界の動きと日本との関連に着目して、二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>①単元名(教材名) 第1節 敗戦から立ち直る日本</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎日本の民主化と再建の過程、冷戦などをもとに、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p>

6月	<p>①単元名(教材名) 第2節 世界の多極化と日本の成長</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎政治の展開と国民生活の変化に着目して、国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
	<p>①単元名(教材名) 第3節 これからの日本と世界</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎冷戦の終結をもとに、国際協調の平和外交の推進、開発途上国への援助などもふまえ、国際社会においてわが国の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p>
	<p>〔公民的分野〕</p>
7月	<p>①単元名(教材名) 1節 現代社会の特色と私たち</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。</p>
7月	<p>①単元名(教材名) 2節 私たちの生活と文化</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
7月	<p>①単元名(教材名) 3節 現代社会の見方や考え方</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>

3 年間指導計画(その②)

8月	<p>①単元名(教材名) 1節 人権と日本国憲法</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>①日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。</p>
9月	<p>①単元名(教材名) 2節 人権と共生社会</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、日本国憲法において、人権保障が大切にされている理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
	<p>①単元名(教材名) 3節 これからの人権保障</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>

10月	<p>①単元名(教材名) 1節 現代の民主政治</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎議会制民主主義の意義, 多数決の原理とその運用の在り方について理解している。</p>
	<p>①単元名(教材名) 2節 国の政治の仕組み</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎国民の権利を守り, 社会の秩序を維持するために, 法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。</p>
11月	<p>①単元名(教材名) 3節 地方自治と私たち</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎対立と合意, 効率と公正, 個人の尊重と法の支配, 民主主義などに着目して, 民主政治の推進と, 公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ, 多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。</p>
12月	<p>①単元名(教材名) 1節 消費生活と市場経済</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎事例や統計資料などを収集・選択し, 読み取る学習を通して, 身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。</p>

3 年間指導計画(その③)

12月	<p>①単元名(教材名) 2節 生産と労働</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎対立と合意, 効率と公正, 分業と交換, 希少性などに着目して, 社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり, 社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり, 思考・判断したことを説明したり, それらを基に議論したりしている。</p>
	<p>①単元名(教材名) 3節 市場経済の仕組みと金融</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎現代の金融などの仕組みや働きを理解している。</p>
1月	<p>①単元名(教材名) 4節 財政と国民の福祉</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎財政及び租税の意義, 国民の納税の義務について理解している。</p>
	<p>①単元名(教材名) 5節 これからの経済と社会</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎対立と合意, 効率と公正, 分業と交換, 希少性などに着目し, 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して, 国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。</p>
2月	<p>①単元名(教材名) 1節 国際社会の仕組み</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>◎世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには, 国際協調の観点から, 国家間の相互の主権の尊重と協力, 国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。</p>

①単元名(教材名) 2節 さまざまな国際問題

②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現

③概ね満足な姿(B規準)

◎対立と合意, 効率と公正, 協調, 持続可能性などに着目して, 日本国憲法の平和主義を基に, 我が国の安全と防衛, 国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。

3月 ①単元名(教材名) 3節 これからの地球社会と日本

②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現

③概ね満足な姿(B規準)

◎世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには, 国際協調の観点から, 各国民の相互理解と協力が大切であることを理解している。

①単元名(教材名) 終章 より良い社会を目指して

②主な評価の観点 ◎主体的に学習に取り組む態度

③概ね満足な姿(B規準)

◎私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について, 現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み, 主体的に社会に関わろうとしている。